

都市再生整備計画 事後評価シート
石橋駅周辺地区

令和2年10月

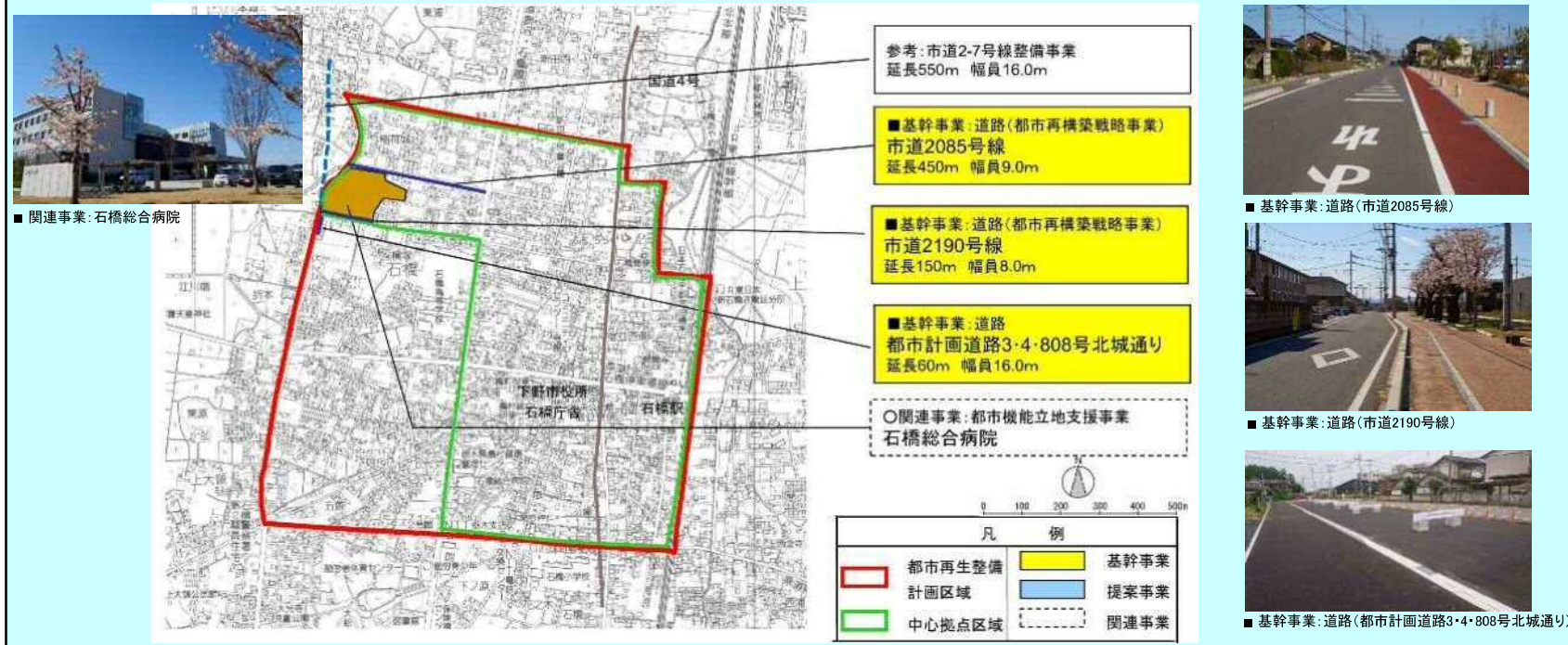
栃木県下野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	下野市		地区名	石橋駅周辺地区(都市再構築戦略事業)			面積	144.5ha				
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	234百万円	国费率	0.427						
1)事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(都市計画道路3・4・808号北城通り、市道2085号線、市道2190号線)												
		提案事業	なし												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし												
		提案事業	なし												
	新たに追加した事業	基幹事業	なし												
提案事業		なし													
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
	指標1	地区人口	人	7,731	H26	7,731	R1	モニタリング	評価値	7,662	△	あり	●	本地区内に、石橋総合病院が移転したこと、また石橋総合病院へのアクセス道路歩道のバリアフリー化により安心安全の居住環境が向上し、新規住宅等の増加につながり、世帯数は増加したが人口の維持までには至らなかった。しかしながら下野市人口ピジョンの将来推計より小規模な減少となっている。	
	指標2	地区人口密度	人/k㎡	5,350	H26	5,350	R1	モニタリング	評価値	5,302	△	あり	●	本地区内に、石橋総合病院が移転したこと、また石橋総合病院へのアクセス道路歩道のバリアフリー化により安心安全の居住環境が向上し、新規住宅等の増加につながり、世帯数は増加したが人口は減少となったため、地区人口密度の維持とはならなかった。しかしながら、評価値は目標値と同じ5,300人台を保っている。	
	指標3	道路のバリアフリー化率	%	5.7	H26	11.4	R1	モニタリング	評価値	11.4	○	あり	なし	石橋総合病院へのアクセス道路である、市道2085号線および市道2190号線の歩道がフラット構造、カラー舗装などで整備され、また都市計画道路3・4・808号北城通りの一部区間も暫定整備され、区域内の主要道路バリアフリー化率の向上につながった。	
	指標4	石橋総合病院の利用者数	人/月	292	H24	350	R1	モニタリング	評価値	7,553	○	あり	なし	石橋総合病院が旧石橋中学校跡地へ移転し、救急対応の強化や病院機能の刷新により医療の充実が図られたこと、また駐車場面積の拡大やアクセス道路のバリアフリー化により病院へのアクセス性が向上したが、利用者数の増加につながった。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ				
	その他の数値指標1	地区世帯数	戸	2,895	H26		モニタリング	評価値	3,125	△	あり	●	本地区内に、石橋総合病院が移転したこと、また石橋総合病院へのアクセス道路の歩道がバリアフリー化されたことにより安心安全の居住環境が向上し、新規住宅等の増加につながった。		
その他の数値指標2															
4)定性的な効果発現状況	なし														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	都市計画道路3・4・808号北城通り道路整備事業説明会等					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	今回、本計画において整備した北側にあたる市街化調整区域の計画区間においても事業実施が図れるよう、引き続き住民参加の説明会および個別交渉を進める方針である。		
持続的なまちづくり体制の構築	下野市立古山小学校、下野市立石橋中学校共同で古山小学校区内の公園の美化活動					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	古山小学校と石橋中学校では、年に一度地域の美化活動等を行っており、市としても活動に協力していく方針である。			

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 定住を支援する交通環境が確保された住みよい市街地づくり	地区内の人口	単位 : 人 7,731 H26年度	7,731 R1年度	7,662 R1年度
目標1: 高齢者をはじめ誰もが住みよい市街地の定住環境を支援する機能の確保	地区内の人口密度	単位 : 人/k㎡ 5,350 H26年度	5,350 R1年度	5,302 R1年度
目標2: 歩行者が安全に移動できる交通環境づくり	地域内のバリアフリー化率	単位 : % 5.7 H26年度	11.4 R1年度	11.4 R1年度
	石橋総合病院の外来患者数	単位 : 人/月 292 H24年度	350 R1年度	7,553 R1年度



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺市街地の活力が低下しており、都市活動や定住の拠点としての機能と併せ、地域の中心的な市街地づくりのため、駅周辺市街地の活力向上が必要である。 ・3つの鉄道駅周辺においては、都市基盤を整備することで都市機能を充実させ、よりコンパクトなまちづくりを行うことで住宅等の誘導を図り、人口を維持することが課題である。 ・道路網や公共交通網など市街地・集落の良好なネットワーク形成のため、市街化調整区域内の都市計画道路についても円滑な事業の進捗を図ることが課題である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【人口減少の抑制】</p> <p>石橋総合病院と連携し、安心安全のまちづくりを推進する。また、子育て世代への支援を行う。</p> <p>【住みよい環境づくり】</p> <p>都市計画道路3・4・808号北城通りなど未整備の都市計画道路の整備を進め、あわせて土地区画整理事業等により都市基盤施設の整備改善を図る。</p> <p>【駅周辺の活力向上】</p> <p>石橋庁舎跡地を市民の交流や賑わいの創出につながる場所として、多目的な用途に利用できる広場を整備する。</p> <p>石橋駅と独協医大病院を結ぶ広域連携バスを試験運行し、駅周辺の利便性向上を図る。また、試験期間終了後に課題点を整理し、さらなる方策を検討する。</p> <p>空き店舗等活用事業奨励金を活用し、商業の活性化を図る。</p> <p>【市街地・集落のネットワーク形成】</p> <p>下野市内の広域的な交通ネットワークを踏まえた総合的な指針となる「下野市幹線道路網整備計画」について、整備の進捗状況や社会情勢の変化に対応するため、見直しを実施する。またその際、自転車レーン等の設置についてもあわせて検討する。</p>